



Third party verified
Environmental Product Declaration
Conformance with
ISO14025 ISO14040 ISO14044



エフサステクノロジーズ株式会社
Fsas Technologies Inc.

PRIMERGY RX4770 M8



登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2601-87-1	2026/01/22	2026/02/03	2031/1/21	単一製品EPD
※更新された場合は初版公開日				
追加の準拠規格	EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。 EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。 https://ecoleaf-label.jp/epd/search			
なし				

● 基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェBSITE	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	IT機器
PCR登録番号	PA-520000-BF-04
PCR認定日	2023/08/15
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健 一般社団法人サステナブル経営推進機構
PCR有効期限	2028/08/14
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部		<input checked="" type="checkbox"/> 外部
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による ■ 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による □ 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 □ による第三者検証
検証実施者（所属）	伊納 寛文		

> 準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、製品のライフサイクル全体を考慮し、同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

● EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	エフサステクノロジーズ株式会社
住所	神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1 Fujitsu Technology Park
問い合わせ先	https://www.fsastech.com/ja-jp/contact/
LCA算定実施者（所属）	エフサステクノロジーズ株式会社 サーバ&ストレージ事業本部 サーバ事業部
事業者概要	サーバやストレージの開発・製造・販売・保守 ネットワーク製品の販売・保守 法人向けPCの販売

●製品情報

製品名称	PRIMERGY RX4770 M8				
製品の型式	PYR4778RBT				
製品仕様	製品質量	34.54 kg	換算係数 -		
	製品機能	クライアントからの要求を受けてデータやサービスを提供するコンピュータ			
	製品の用途	企業内外のユーザーに対し、業務システムやWebサービスなどを安定的に提供			
	技術性能	-			
耐用年数	年数	5年			
	使用条件	機器が保証する環境条件の範囲内で使用			
	年数を設定した根拠	法定耐用年数（電子計算機 その他のもの 5年）と同等、耐久年数や保証期間をさすものではない。			
製造サイト（製造拠点）	福島県				
製品概要	ラック型サーバ CPU：4 ソケット インテル® Xeon® 6700P シリーズ プロセッサー 外形寸法：445 × 819 × 130 (3U) mm (突起部含まず)				
製品ウェブサイト	https://www.fsastech.com/ja-jp/products/primergy/lineup/rx4770m8/				

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
鋼板	47.1	14.37	kg
銅	8.8	2.69	kg
アルミ	1.9	0.57	kg
PBT	4.9	1.49	kg
PC	6.7	2.03	kg
ABS	1.2	0.35	kg
PT板ユニット	25.7	7.83	kg
2.5インチHDD	1.3	0.40	kg
ケーブル	1.6	0.48	kg
その他	1.0	0.32	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
ダンボール	84.0	3.38	kg
EPS	15.9	0.64	kg
LDPE	0.1	0.00	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

●LCA関連情報

>EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 単一製品	<input type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト		<input type="checkbox"/> 複数サイト
	開示方法	<input checked="" type="checkbox"/> 特定値	<input type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値
地理的範囲		日本国内		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		-		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の		-		
複数製品EPDの説明		-		

>LCA関連情報

宣言単位	製品1台あたり		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	34.54 kg		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-		
システム境界	<input type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA for EPD		
LCIデータベース	IDEA v3.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC 2013 GWP 100a、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	無し		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点	伊達工場		
一次データ収集期間	2025年4月1日～2025年11月28日 (生産プロセスのみ、データの妥当性を確認した上で、2021年6月1日～12月31日の期間で収集したデータを使用)		
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

>算定対象段階

原材料調達	製造	流通	使用・維持	最終(EoL)
<input checked="" type="checkbox"/>				

■ : 算定対象 - : 算定対象外

>アロケーション

本製品の製造プロセスにおける電力については、工場で他製品も製造していることからプロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であるため、物理量アロケーションを行った。

>カットオフ

PCRで記載された以下のカットオフ対象以外に、カットオフした主要プロセスはない。

- ・製品を生産する設備などの資本財の使用時以外の負荷
- ・生産工場などの建設に係る負荷
- ・副資材のうち、マスク、軍手などの汎用的なものの負荷
- ・事務部門や研究部門などの間接部門に係る負荷

>システム境界

PCRに基づき設定を行った。

消耗品製造のプロセスはシステム境界外としている。

時間的システム境界は100年である。

>シナリオ

輸送距離はPCRのシナリオを使用した。

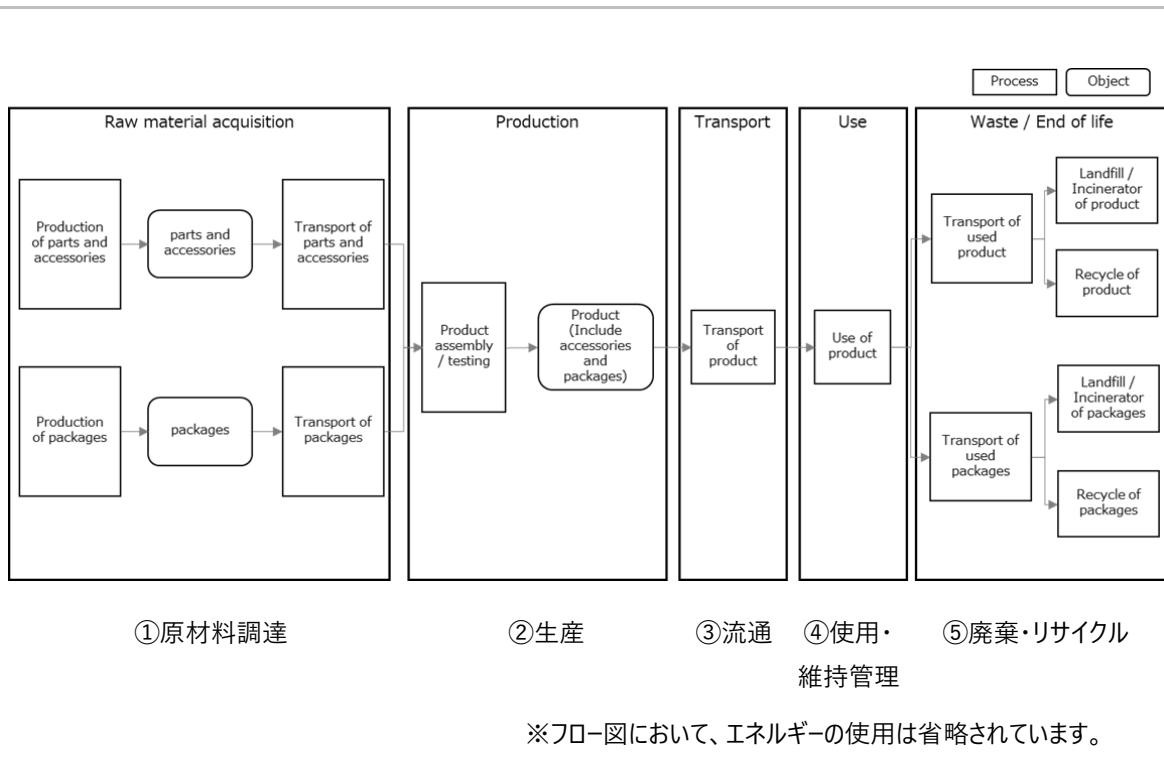
廃棄・リサイクル段階は富士通のリサイクル実績を基にしたモデル計算値を使用した。^{*1}

^{*1}：当社は2024年4月富士通からサーバ事業を分社化して設立され、現在も富士通グループの一員として事業を継続しています。

>電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

>ライフサイクルフロー図



●算定結果

>ライフサイクル影響評価結果

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
気候変動	kg-CO ₂ eq	1.20E+03	5.50E+00	5.59E+00	1.30E+04	7.74E+00
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	5.85E-04	1.33E-06	7.51E-11	3.13E-03	1.92E-07
酸性化	kg-SO ₂ eq	1.03E+00	5.40E-03	1.85E-02	1.27E+01	3.69E-03
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	7.23E-01	4.12E-03	6.94E-03	9.72E+00	2.24E-03
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	2.67E-02	1.06E-04	3.95E-05	2.50E-01	2.90E-05
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	9.92E-01	1.28E-04	2.78E-05	3.03E-01	1.30E-04
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	2.15E-02	1.63E-05	1.81E-05	3.85E-02	8.53E-06
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	5.76E+00	1.07E-02	8.89E-07	2.53E+01	1.69E-03
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	7.47E+01	2.60E-01	1.47E-05	6.13E+02	3.75E-02
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	1.95E-02	3.34E-07	5.75E-11	7.88E-04	2.11E-05
土地利用(維持)	m ² /年	1.19E+01	2.72E-02	4.69E-01	6.41E+01	5.19E-02
土地利用(改变)	m ²	2.38E-01	7.53E-04	9.38E-03	1.77E+00	1.07E-03
資源消費	kg-Sbeq	1.71E-01	3.73E-05	2.33E-05	8.79E-02	1.30E-05

>ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
非再生可能資源	kg	5.83E+01	7.31E-02	5.61E-06	1.72E+02	1.06E-02
非再生可能エネルギー	kg	5.17E+02	2.07E+00	1.71E+00	4.87E+03	8.57E-01
非再生可能エネルギー	MJ	2.29E+04	8.52E+01	7.65E+01	2.01E+05	3.74E+01
再生可能資源	kg	1.36E+02	5.88E-03	1.43E-06	1.39E+01	9.33E-04
再生可能エネルギー	MJ	3.14E+03	3.51E+01	1.94E-03	8.27E+04	5.05E+00
淡水の消費	m ³	6.47E+00	7.90E-04	1.14E-04	1.86E+00	2.97E-04
排出, CO ₂ (化石資源由来), 大気, 不特定	kg	1.14E+03	5.29E+00	5.35E+00	1.25E+04	2.52E+00
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	2.10E+02	1.30E-01	1.68E+00	3.06E+02	5.69E-01
排出, 挥発性有機化合物, 大気, 不特定	kg	2.34E-03	4.71E-10	4.39E-14	1.11E-06	6.91E-11

>廃棄物関連情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00
無害廃棄物	kg	1.04E+01	6.69E-04	4.86E-08	1.58E+00	1.32E+01
一般廃棄物 埋立物	kg	3.23E-02	2.55E-13	7.83E-17	6.00E-10	9.26E-14
産業廃棄物 埋立物	kg	1.03E+01	6.69E-04	4.86E-08	1.58E+00	1.32E+01

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。有害物質の0は、WEEE指令指定有害物質閾値以下の意です。

>出力フローに関する環境情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
再利用可能な部品	kg	-	-	-	-	-
リサイクル用材料	kg	-	-	-	-	-
エネルギー回収用材料	kg	-	-	-	-	-
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 $\geq 60\%$)	MJ	-	-	-	-	-
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率 $< 60\%$)	廃棄物焼却処分量	kg	-	-	-	-
	回収エネルギー	MJ	-	-	-	-
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により発生する埋立ガスからのエネルギー回収)	廃棄物埋立処分量	kg	-	-	-	-
	回収エネルギー	MJ	-	-	-	-

> LCA算定結果に関する説明

- ・シナリオの製品種類名：電子計算機（ブレードシステムを除くサーバ型電子計算機）
- ・製品名：PRIMERGY RX4770 M8
- ・型式名：PYR4778RBT
- ・測定条件：使用時電力と輸送量はPCRシナリオに従い算定
- ・想定使用年数：5年 法定耐用年数（電子計算機 その他のもの 5年）として計算
- ・回収率：100%と想定して計算
- ・使用場所：日本
- ・製品構成：
 - CPU：インテル® Xeon® 6714P プロセッサー x 4
(加重最高性能(APP)：0.22272 WT、浮動小数点演算：742.4 GFLOPS)
 - DIMM：64 GB RDIMM x 32
 - HDD：2.5インチ 2.4 TB x 2

●追加の環境関連情報

> LCAに関連しない追加の環境情報

- ・ISO14001認証取得工場で生産しています。
- ・欧州RoHS指令に準拠しています。
- ・国際エネルギーestarプログラムに適合しています。

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
-	-	-
-	-	-
-	-	-

●用語の定義

-

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines